

平成25年度

# ティーンズミーティングの概要

私たち子どもは、地域のことや人とのつながりについて、こんなことを考えています



平成21年12月に制定した尼崎市子どもの育ち支援条例をもとに、尼崎市が「子どもたち1人ひとりが大切にされて、たくさんの人に支えられて育つまち」になるための取組の一つとして、子ども目線で社会はどう見えているのかなどを知り、市の行政や地域の大人の取組に活かしていくために、平成23年度より「ティーンズミーティング」を開き、小・中学生の思いや考えを聴いています。

平成25年度は、これまでに引き続き、7月上旬～8月下旬に、小・中学校9校で各1回、10人程度のグループをつくり、「ティーンズミーティング」を開きました。<小学生(5・6年生)73人、中学生34人に意見を聴きました。>

なお、平成25年度は、第1部では、これまでの「ティーンズミーティング」で意見の多かった「ごみ」や「交通ルール・マナー」について、第2部では、これまでどおり「大人」や「子ども同士」の関係について、どうすればよりよい状況になるのか、「大人」「子ども」「大人・子ども」「行政」のそれぞれの役割を考えてもらいながら、意見交換しました。



**子どもたちの思いや考えに耳を傾け、  
子どもが健やかに育つために、  
何が必要かを考えてみませんか。**



# 第1部「みんなが住みやすいまちにするには」



## テーマ1「ごみについて」

### 小学生の意見

現状：地域は、どんな状態だと思いますか？

道路などに、ごみが捨てられている

- ・大人も子どもも、ごみを捨てるのが普通になっている
- ・捨てられた空き缶で、遊ぶ子どもがいる
- ・川が、ごみや洗剤のせいで汚れている
- ・ごみが落ちていても、誰も拾わない
- ・ごみを捨てる人は多いが、注意をする人がいない

公園のごみ箱が汚い

- ・公園のごみ箱が荒らされていたり、ごみが溜まったままになったりしている
- ・カラスがごみを荒らしている
- ・ごみの分別をしていない
- ・公園にごみ箱が少ない

まちがきれいな状況ではないという認識でした。

どうすればよりよい状況になると思いますか？

#### 大人

道路などにごみを捨てないように、意識を啓発する

- ・回覧板で、ごみを捨てないように、呼びかける
- ・ごみ拾いのイベントの周知をする
- ・ごみに、カラス対策のネットをきちんとかける
- ・ごみの収集場所に、ごみを出すルール・マナーを守る

#### 大人・子ども

皆でごみ拾いをする

- ・自分のごみは、自分で捨てる
- ・ごみを見つけたら拾う
- ・道路などにごみを捨てないように、意識を啓発する
- ・自分達の意識を変えるために、地域を見回る

#### 子ども

自分達でごみを拾う

- ・ごみを捨てないように、意識を啓発する
- ・ポスターを作ったり、ピラを配ったりする
- ・自分のごみは、自分で捨てる
- ・道路などにごみを捨てている人を見かけたら、注意をする

#### 行政

道路などにごみを捨てないように、意識を啓発する

- ・道路にごみ箱を設置する
- ・クリーン運動などのイベントに、もっと参加してもらう
- ・公園のごみ箱が荒らされないようにする
- ・公園にごみ箱を設置する

行政だけでなく、自分達でまちをきれいにしたいという思いがうかがえました。

### 中学生の意見

現状：地域は、どんな状態だと思いますか？

道路などに、ごみが捨てられている

- ・友達同士でごみを投げ合ったり、自転車のカゴに入れ合ったりしている
- ・自動車から、空き缶や食べた後のごみを捨てる人がいる
- ・カラスや猫が、ごみを荒らしている

ごみの収集場所に、ごみを出すルール・マナーを守らない人がいる

- ・袋に入れずに、ごみを出す人がいる
- ・収集日の前日に、ごみを出している人がいる

まちがきれいな状況ではないという認識でした。

どうすればよりよい状況になると思いますか？

#### 大人

道路などに、ごみを捨てない

- ・子どもは大人のまねをするので、まずは大人がごみを捨てない
- ・ごみに、カラス対策のネットをきちんとかける
- ・収集場所に、カラスや猫が嫌がる臭いのものを置く

#### 大人・子ども

自分のごみは、自分で捨てる

- ・自分が出したごみを捨てることができるように、常にごみ袋を持ち歩く
- ・自分のごみは、家に持ち帰る

#### 子ども

自分達でごみを拾う

- ・生徒会で呼びかけて、生徒が皆でごみ拾いをする
- ・道路などにごみを捨てないように、意識を啓発する
- ・生徒会で手紙を作り、ごみを捨てないように一軒一軒、呼びかける

#### 行政

道路にごみ箱を設置する

- ・道路などにごみを捨てないように、意識を啓発する
- ・道路などにごみを捨てないように、監視カメラを設置する
- ・ごみ袋の色を変えて、カラスにごみが見えないようにする

行政や大人に改善するための取組をしてもらいたい、という思いがうかがえました。



## テーマ2「交通ルール・マナーについて」



### 小学生の意見

現状：地域は、どんな状態だと思いますか？

自転車を運転している人が、運転ルール・マナーを守らない

- ・携帯電話やスマートフォンを見ながら、運転している
- ・二人乗りをしている
- ・片手運転をしている

歩行者が、交通ルール・マナーを守らない

- ・信号無視をしている
- ・道路に広がって歩いている

自動車やバイクを運転している人が、運転ルール・マナーを守らない

- ・自転車専用道路に、自動車が止まっている
- ・夜遅くに、バイクの音が聞こえてうるさい

道路が、安全な状態ではない

- ・道路がひび割れていて歩きにくい
- ・夜、暗くて歩きにくい道路がある

交通ルール・マナーを守らない人が多い、道路が安全な状態でないという認識でした。

どうすればよりよい状況になると思いますか？

#### 大人

交通ルール・マナーを守るように、意識を啓発する

- ・ポスターを貼って呼びかける
- 交通ルール・マナーを守らない人に、注意をする  
大人が見本となる

#### 大人・子ども

自転車の運転ルール・マナーを守る

交通ルール・マナーを守るように、意識を啓発する

- ・ルール・マナーを守ることの大切さを、友達や家族に伝える
- 交通ルール・マナーを守らない人に、注意をする  
交通ルール・マナーを守る

#### 子ども

交通ルール・マナーを守るように、意識を啓発する

- ・ポスターを貼って呼びかける
- 交通ルール・マナーを守らない人に、注意をする  
・子ども自身が信号を守ってから、信号無視をする大人にも注意をする

#### 行政

道路を整備する

- ・道路がひび割れているところは、修復する
- 交通ルール・マナーを守るように、意識を啓発する  
自転車の運転ルール・マナーについて、学ぶ機会を作る

「意識の啓発」に関する意見が多かったです。

### 中学生の意見



現状：地域は、どんな状態だと思いますか？

自転車を運転している人が、運転ルール・マナーを守らない

- ・歩道を凄いスピードで運転している
- ・夜、ライトをつけずに運転している
- ・スマートフォンを見ながら、運転している
- ・煙草を吸いながら運転している人がいるので、空気が汚れる

歩行者が、交通ルール・マナーを守らない

- ・スマートフォンを見ながら、歩いている

- ・道路を渡る時に、左右を確認しない
- ・子どもも大人も、信号を守っていない
- ・人が見ていないと、交通ルール・マナーを守らない人がいる

自動車を運転している人が、運転ルール・マナーを守らない

- ・お酒を飲んで、自動車の運転をしている

交通ルール・マナーを守らない人が多い、という認識でした。

どうすればよりよい状況になると思いますか？

#### 大人

交通ルール・マナーを守るように、意識を啓発する

- ・地域の人が交通ルール・マナーを守るように、呼びかける
- ・煙草は、子どものいない決められた場所で吸うように、呼びかける

#### 大人・子ども

自転車の運転ルール・マナーを守る

- ・皆が、オートライト式の自転車に乗るようにする

#### 子ども

交通ルール・マナーを守るように、意識を啓発する

- ・たくさんの人に呼びかけるのは難しいので、家族や友達などの身近な人から呼びかけていく
- ・学校の朝礼などで、呼びかける

#### 行政

交通ルール・マナーについて、学ぶ機会をつくる

- ・講習会を実施したり、道徳の時間に学んだりする機会を作る
- 交通ルール・マナーを守るように、意識を啓発する  
・道路に罰則を書いた看板を設置する

行政や大人に改善するための取組をしてもらいたい、という思いがうかがえました。「意識の啓発」に関する意見が多かったです。

## 第2部「地域の大人や子どもがつながるには」

### テーマ3「地域の大人から学んでみたいこと、経験してみたいことについて」

#### 小学生の意見

現状：地域の大人から学んでみたいこと、経験してみたいことってどんなこと？

##### 昔のことが知りたい

- ・昔の暮らしについて知りたい
- ・昔の尼崎市の様子が知りたい
- ・昔の遊びを教えて欲しい(竹とんぼ、コマ、お手玉)
- ・阪神・淡路大震災、第二次世界大戦について知りたい
- ・仕事の内容が知りたい

##### 行事に参加したい

- ・仕事の体験がしたい
- ・地域の行事や遊びについて知りたい
- ・自分の将来について、相談したい
- ・学校で学んでいることが、どんなふう役に立つか知りたい
- ・歴史を学びたい

どうすれば機会や場所を確保できると思いますか？

#### 大人

地域の人が、昔遊びをする機会を作る

- ・お祭りなどで紙芝居をする、公園で餅つきをする
- ・行事をもっと周知するために、地域の人がポスターや回覧板で知らせる
- ・原爆ドームのように、歴史が分かる施設などを作る



#### 子ども

昔のことについて、自分から話を聞きに行く

- ・自分のおじいさんやおばあさんに、昔の話を聞く
- ・仕事の内容について、自分から話を聞きに行く
- ・仕事現場に、話を聞きに行く
- ・行事に参加したいという思いを、市に伝える

#### 行政

- ・学校などに地域の人に来てもらい、昔のことを教えてもらえるようにする
- ・仕事をしている人に、学校に来てもらい、昔のことを教えてもらえるようにする。
- ・公民館で、大人と子どもと一緒に楽しめるような行事をする
- ・学校などで、仕事の体験ができる機会を設ける

学校で様々な体験をしたいという思いや、子ども自ら地域に向いて話を聞きたいという思いがうかがえました。



#### 中学生の意見

現状：地域の大人から学んでみたいこと、経験してみたいことってどんなこと？

##### 昔のことが知りたい

- ・昔の尼崎市の様子が知りたい
- ・昔の遊びについて知りたい
- ・阪神・淡路大震災、第二次世界大戦について知りたい
- ・おばあさんの豆知識などを学びたい
- ・昔と今の習慣の違いを知りたい
- ・仕事の内容が知りたい

- ・社会人になった時に必要なことを知りたい
- ・社会見学で、仕事をしている人の話を聞きたい
- ・尼崎市の伝統文化について知りたい
- ・仕事の体験がしたい

- ・色々な仕事を体験してみたい
- ・トライやる・ウィークで行ける職場を増やして欲しい(TV局など、自分達では見に行きにくい職場)

どうすれば機会や場所を確保できると思いますか？

#### 大人

地域の人と触れ合う場を作り、昔のことを教えてもらえるようにする

- ・町内会で盆踊りをするなど、触れ合う場を作る
- ・仕事の体験ができる機会を設ける
- ・地域でお祭りを主催している人が、機会を設ける

#### 大人-子ども

昔のことを教えてもらえるようにする

- ・大人と子どもが協力して、昔のことを教えてもらえるようにする

#### 子ども

昔のことについて、自分から話を聞きに行く

- ・地域に向いて、お年寄りなどに話を聞きに行く
- ・老人ホームなどに行って話を聞く

#### 行政

- ・学校などで、地域の人と交流できる機会を作り、昔のことを教えてもらえるようにする
- ・市のホームページなどで、仕事の内容を伝える
- ・仕事の内容について、ホームページで質問コーナーを設ける
- ・直接、仕事の内容を聞く機会を設ける

行政に様々な機会を作って欲しいという思いがうかがえました。

## テーマ4「子ども同士の関係について」

### 小学生の意見



現状：困ったり、嫌なことがあった時、どうやって解決していますか？

#### 第三者に相談する

- ・家族（親、兄弟、親戚）に相談する
- ・友達に相談する
- ・先生に相談する
- ・大人に相談する
- ・地域の人に相談する
- ・相談窓口相談する

#### 気分転換をする

#### 子ども同士で解決する

- ・自分から謝る
- ・相手と話をする
- ・相手の気がすむまで待つ

#### 自分で解決する

#### 自然に任せる

- ・ケンカをしても忘れる
- ・仲のよい友達なら、自然に仲直りができる

どうすれば、もっと解決しやすくなると思いますか？

#### 大人

大人が子どもの様子に気を配り、声をかける

#### 大人・子ども

先生に、日記や手紙で相談できるようにする

#### 子ども

相談できる人を増やす、相談しやすい環境を作る  
相談窓口相談する  
ケンカをしたら、他の友達に間に入ってもらう  
自分の心を広げる、人格をよくする  
自分から謝る

#### 行政

身近なところに相談できる場所を作る

- ・学校に相談室や相談ボックスを作る
- ・公民館に相談できる場所を作る

自分達で解決していきたいという思いがうかがえました。

### 中学生の意見



現状：困ったり、嫌なことがあった時、どうやって解決していますか？

#### 第三者に相談する

- ・家族（親、兄弟）に相談する
- ・友達に相談する
- ・先生に相談する

#### 気分転換をする

#### 自分で解決する

- ・あまり気にしないようにする
- ・すぐに忘れるようにする

#### 子ども同士で解決する

- ・相手と話をする

小学校と比べたら、他人に相談せずに解決するケースが多い傾向にありました

どうすれば、もっと解決しやすくなると思いますか？

#### 大人

親は、あまり口を出さないようにする

- ・親は、友人関係などをあまり知らないの  
口を出さないようにする
- ・中学生は自分で決めて行動できるので、親  
は過度に口を出さないようにする

#### 大人・子ども

先生に、日記や手紙で相談できるようにする

#### 行政

相談窓口を相談しやすくする

- ・インターネットやメールで、カウンセリングの専門  
家に相談できるようにする
- ・公民館などの身近なところに相談できる窓口を作る
- ・相談窓口で電話をしたら、どんな対応をされるのか  
事前に分かるようにする
- ・相談窓口の電話番号を短くする

自分達で解決していきたいという思いや、行政の相談窓口を充実してもらいたいという思いがうかがえました。

# ティーンズミーティングに参加した感想



ほとんどの参加者が「参加してよかった」という感想を持っていました。

## 小学生の意見

これから、尼崎市をよくしていきたい  
・自分ができることを、やっていこうと思う  
皆の意見を聞くことができてよかった  
楽しかった、よい経験になった、勉強になった  
話し合っ分かったこと、気づいたこと、学べたことがあった

また、ティーンズミーティングのような機会があればよい  
ティーンズミーティングをきっかけに、このまちがよくなって欲しい  
・今日の意見が一つでも実現して欲しい  
・子どもの声を多くの人に聞いてもらい、尼崎市をよくしてもらいたい

## 中学生の意見

皆の意見を聞くことができてよかった  
これから、尼崎市をよくしていきたい  
・自分ができることを、やっていこうと思う  
・今日話し合ったことについて、家族・友達・知り合いに広めたり、話し合ったりしてみたい  
・尼崎市のことについて、真剣に考えていきたい

まちの状況について、知ることができた  
・尼崎市のよいところや悪いところなどを、知ることができてよかった  
また、ティーンズミーティングのような機会があればよい  
このような話し合いをする機会はあまりないので、参加できてよかった

## お知らせ

「平成25年度ティーンズミーティング開催結果」の詳しい内容については、尼崎市の「ティーンズミーティング開催事業」のホームページをご覧ください。

現在位置: ホーム > 市が考える尼崎 > 子ども関連施策 > 尼崎市子どもの育ち支援条例 > 条例の理念実現のための取組 > ティーンズミーティング開催事業

### ティーンズミーティング開催事業

この事業は、条例の理念を実現していく取組の一環であり、平成23年度から複数年をかけて公立小学校・中学校の子どもを対象に、広く思いや考えを聴こうとするものです。

子ども同士の話し合いを通じて、思いや考えを聴くことにより、「子ども目線で社会はどう見えているのか」、「子ども同士の関係を子どもはどうとらえているのか」を把握し、(1)必要に応じて、子どもの視点から見た、子どものニーズを踏まえた子ども関連事業の構築などにつなげるとともに、(2)地域住民などが、子どもの思いや考えを知ることにより、子どもの育ちに関心をもち、関わる可能性を高めることを目的としています。

平成25年度

平成25年度ティーンズミーティング開催結果 (PDF 968.6 KB)

## ティーンズミーティング開催事業ホームページ

[http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/si\\_kangae/kodomo\\_sesaku/046kodomojourei/18842/046teens.html](http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/si_kangae/kodomo_sesaku/046kodomojourei/18842/046teens.html)

### 尼崎市 こども青少年局 計画調整課

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話番号 06-6489-6341 ファックス 06-6489-6373

Eメール [ama-kodomokeikakuchosei@city.amagasaki.hyogo.jp](mailto:ama-kodomokeikakuchosei@city.amagasaki.hyogo.jp)

ホームページ <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/>